



非接触型安全ドアハンドル：AZM200

SCHMERSAL 社の新製品：非接触型安全ドアハンドル AZM200 の製品概要については以下の通りです。

- 主な用途：安全柵・大型機械の出入口
- 非接触型センサ新技术によりアクチュエータと安全ドアハンドルの±5mmの隙間が上下方向にあるため、長期使用によるアクチュエータ・機器への損傷を軽減させます。また、正確なハンドル・アクチュエータ調整を必要とせず、ハンドルの取付・定期保守・調整の簡略化が可能です。
- 安全扉の保全に関しては、追加スイッチ不要のため配線コストを抑えた上、カテゴリ 4 (EN954-1)、SIL 3 (IEC61508) 適用
- 最新技術を駆使し、故障発見への高度診断・警告が可能。故障時も即時機械遮断ではなく、まず機械機能の最適化を行うため、機械・設備のアベイラビリティが向上されます。にもかかわらず、配線は最小限であり、複数の AZM200 の並列切断が出来、周辺機器のみで接続が可能です。
- 2個の中央取付ボアリングにより、アルミプロファイル・鉄製フレームにもねじ2個だけで固定可能。
- スリム・左右対称なデザインで 40~45mm ピッチのアルミフレーム取付に最適。
- 3個の LED 表示灯での操作状況表示により、作業者は扉の脱出解除可能状態を常に把握可能。
- ハンドルの解除といった追加作業を必要とせず、緊急脱出用ハンドルの片手操作可能。回路が電源から切り離された場合でも、誤って通り抜けが可能な危険領域内に閉じ込められた作業者が危険領域から迅速・安全に脱出可能なため、危険領域が可動する安全柵へも効果的です。
- 回転ハンドルによりアクチュエータが簡素化された上に、ハンドルのインテグレーションにより、追加安全ドアハンドル・取付が不要。
- 人間工学に基づくドアハンドルのため、アクチュエータは常にケーシングに収まり、作業者を含めた保護が可能。また、安全ドアハンドルの無効化がされにくい構造です。



本件お問合せは、SCHMERSAL 日本支社迄。